



東北大学

配付先：文部科学省記者クラブ
宮城県政記者会

報道機関各位

平成21年6月18日
東北大学理学研究科

**グローバル COE プログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」
赤祖父俊一先生 GCOEフロンティアセミナー開催のお知らせ**

<概要>

グローバル COE プログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」(拠点リーダー：理学研究科 大谷栄治教授)では、平成21年7月9日(木)、赤祖父俊一先生をお招きして、GCOEフロンティアセミナーを開催します。

赤祖父先生は、1957年に本学理学部地球物理学専攻修士課程を修了され、その後一貫してアラスカ大学においてオーロラ物理学の研究に従事してこられ、1964年にはアラスカ大学地球物理学教授、1986年から1999年まではアラスカ大学地球物理学研究所長、また1998年にはアラスカ大学北極圏研究センターを開設され2007年まで初代所長を務められました。

オーロラ科学における赤祖父先生の貢献はいうまでもありませんが、最近では地球温暖化問題や、サイエンスのあり方にも深い関心をもたれ、積極的な発言をなさっておられます。今回のご講演では「地球温暖化」についてお話しいたします。下記のとおり開催しますので、ご参加下さい。

*職員・学生・院生に限らずどなたも参加できます。

<記>

日 時：平成21年7月9日(木) 10時30分から12時00分

場 所：東北大学理学部 大講義室

講 師：赤祖父俊一先生

演 題：「地球温暖化：大部分自然変動の可能性が高い」

以上

(お問い合わせ先)

東北大学理学研究科 惑星プラズマ・大気研究センター
岡野 章一 (TEL 022-795-6367)
東北大学理学研究科 庶務係 (TEL 022-795-6346)



東北大学グローバルCOEプログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」

アラスカ大学名誉教授および国際北極圏研究センター初代所長赤祖父俊一先生
による東北大学グローバルCOEプログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」の
GCOEフロンティアセミナーを開催します。

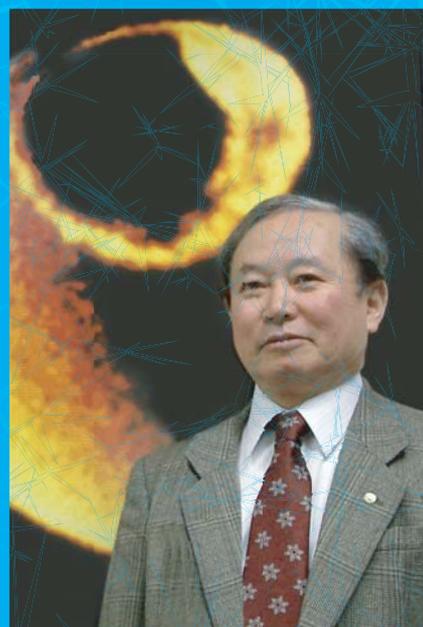
赤祖父 俊一 先生

GCOE Frontier Seminar

“地球温暖化：大部分自然変動の可能性が高い”

地球はその誕生以来、烈しい気候変動を繰り返してきた。近い過去では数回繰り返した氷河期、もっと近い過去では中世温暖期（1000AD）や小氷河期（1400-1800AD）、更に近い過去では1910-1940年の温暖化、炭酸ガスが急激に増加し始めたのは1946年であるにもかかわらず1940-1975年の寒冷化などである。これらはいずれも人類の活動による影響は少ない。

したがって現在までの温暖化の原因を研究するためには、自然変動の部分を正しく同定し、それを差し引かなくては人類の影響は分からない。この講演ではその研究を紹介する。それによると現在の温暖化の大部分は小氷河期からの回復の可能性が大きい。更に気温上昇が過去10年止まっているのも自然変動によることを説明する。



赤祖父先生は、1957年に本学理学部地球物理学専攻修士課程を修了され、その後一貫してアラスカ大学においてオーロラ物理学の研究に従事してこられ、1964年にはアラスカ大学地球物理学教授、1986年から1999年まではアラスカ大学地球物理学研究所長、また1998年にはアラスカ大学北極圏研究センターを開設され2007年まで初代所長を務められました。

オーロラ科学における赤祖父先生の貢献はいうまでもありませんが、最近では地球温暖化問題や、サイエンスのあり方にも深い関心をもたれ、積極的な発言をなさっておられます。

日時：7月9日（木）10時30分～12時00分

場所：東北大学理学部 大講義室